



タイトル	「発信・体験・共有」を根幹にした「ふるさとの日」の新設
名称（学校・地域）	駒ヶ根市立東中学校
日時・場所等	総合的な学習の時間の発表の機会として・11月16日
ホームページアドレス	



東中学校活動スローガン

ふるさとへ心を

を具現化する学習

全校生徒200人弱の本校では、「ふるさとへ心を」という活動スローガンのもと、小規模校の特色を生かし、地域の人々、場所、ものとの関わりを大切にしながら、上級生と下級生が協力し合い、支え合いながら活動する縦割りによる「ふるさと班」を中心に年間を通して「ふるさと学習」をしています。今年度は、その成果の発表の形態を一新し、ふるさと学習を通して再発見したふるさと駒ヶ根の魅力を「発信・体験・共有」できる「ふるさとの日」を新たに設けました。

① オープニングセレモニー

体育館で全校そろって行いました。「ふるさと」の全員合唱から始まり、各班の見所紹介もありました。来賓の方へのインタビューやマラソンMGCに出場した卒業生からのメッセージ動画で、ふるさとへの思いを新たにしました。「こまがねテラスでふるさとは活性化できるのか？」のテーマでパネルディスカッションを行いました。パネラーとして、市役所やこまがねテラスの方にも参加していただき、事前に用意した原稿ではなく、その場で考え堂々と発表する生徒の姿に、成長の大きさを感じました。



② 各班の発表とふるさとの味



「産業」「文化」「観光」「交流」の4分野から選択し、構成された12の縦割り班ごと、ステージでの発表以外にも、様々な形の体験・発信型の発表があります。箸作り体験（木工室）・足湯体験（渡り廊下）・おやき体験試食・まゆ玉体験試食（調理室）・読み聞かせブース・自作の駒ヶ根かるた体験（体育館）などの他に、クッキー・野菜・おやき・どら焼き・ドライフルーツ・手作りこんにやくの販売コーナーもあり大盛況でした。

また、「ふるさとの味ブース」として、保護者・地域の方々や地元企業の方による、豚汁・おでん・ポン菓子・ピザ・ミネストローネ・ポン菓子・地元野菜の天ぷら・ローメン・スコーン・豚汁などが無料提供され、心も体も温まりました。

③ ワールドカフェ 湯澤かよこさんのトーク&ライブ

「ふるさと駒ヶ根を更に盛り上げるためには？」という問いからスタートする全校生徒によるワールドカフェ。ここからステキなアイデアがたくさん生まれています。1日の締めくくりには、伊那谷出身の歌手、湯澤かよこさんによるトーク&ライブを設定しました。地元を離れて活躍している湯澤さんから、「ふるさと」への思いをお聞きしたり、温かくも力強いsoulfulな歌声で魂を鼓舞するメッセージソングをプレゼントしてもらいました。全校で歌詞を考え校長先生が作曲した「ふるさとの日」も一緒に歌って盛り上がりました。

